



## 平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社サンワカンパニー

コード番号 3187 URL <http://www.sanwacompany.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山根 太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CSO 兼 CFO

(氏名) 武島 和義

TEL 06-6359-6721

四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年9月期第2四半期の業績(平成27年10月1日～平成28年3月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	4,282	18.6	308	23.6	306	23.3	182	△0.9
27年9月期第2四半期	3,611	—	249	—	248	—	184	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	11.42	10.98
27年9月期第2四半期	11.54	10.94

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
28年9月期第2四半期	4,418	—	1,893	—	42.9	—	118.52	
27年9月期	4,140	—	1,772	—	42.8	—	111.12	

(参考)自己資本 28年9月期第2四半期 1,893百万円 27年9月期 1,772百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	4.00	4.00
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年9月期の業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	11.2	540	16.3	535	16.8	340	5.5	21.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年9月期2Q	15,978,000 株	27年9月期	15,950,500 株
28年9月期2Q	— 株	27年9月期	— 株
28年9月期2Q	15,974,693 株	27年9月期2Q	15,950,500 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和を背景に、企業収益の拡大や雇用の改善など緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、日銀によるマイナス金利政策の実施、海外においては、中国経済の減速や金融市場の混乱、米国経済の下振れ懸念や追加利上げの見送り、更には円高・ドル安方向への動きなど、従来にも増して先行きの不透明感が強まる状況となりました。

このような状況の中、当社は顧客数の増加並びにクロスセルやアップセルなど1顧客あたりの売上向上を図るための施策を実施することで、事業規模の拡大を図りました。平成27年12月に台湾の台北市で開催された「第27回台北国際建築建材及び産品展」、また平成28年4月に「ミラノサローネ国際家具見本市」にて同時開催された「エウロクチャーナ」（サローネ国際キッチン見本市）への出展により、世界に向けてミニマリズムを追求したデザインと「メイド・イン・ジャパン」という高品質を併せ持った商品を開発するメーカーであるというブランド浸透を図りました。今後も海外市場への販路拡大や業務提携等により、グローバルビジネスを推進してまいります。

商品施策においては、6年連続となる「グッドデザイン賞」を7件受賞し、2015年度受賞件数の第10位となりました。また2年連続となる「iFデザイン賞」を7件（うち1件は最優秀賞であるゴールドアワード）受賞し、「レッドドットデザイン賞」でも2件受賞いたしました。今後も特色ある商品開発を行い、商品ラインナップを拡充し、お客様の家づくりの自由度を上げるべく事業展開してまいります。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高4,282百万円（前年同期比18.6%増）となり、営業利益308百万円（前年同期比23.6%増）、経常利益306百万円（前年同期比23.3%増）、四半期純利益182百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

なお、当社は建築資材のインターネット通信販売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ278百万円増加し、4,418百万円となりました。その主な要因は、差入保証金の増加247百万円、商品の増加79百万円、売掛金の増加74百万円、貯蔵品の増加60百万円、ソフトウェア仮勘定の増加58百万円、現金及び預金の減少238百万円によるものであります。

## (負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ156百万円増加し、2,524百万円となりました。その主な要因は、未払金の増加165百万円、買掛金の増加114百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少150百万円によるものであります。

## (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ121百万円増加し、1,893百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加118百万円によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して238百万円減少し、1,617百万円となりました。

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は328百万円となりました。これは主に税引前四半期純利益274百万円、未払金の増加額150百万円、仕入債務の増加額114百万円を計上した一方で、たな卸資産の増加額131百万円、売上債権の増加額74百万円を計上したことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は318百万円となりました。これは主に差入保証金の差入による支出248百万円、無形固定資産の取得による支出59百万円を計上したことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は248百万円となりました。これは主に長期借入れによる収入300百万円を計上した一方で、長期借入金の返済による支出450百万円、配当金の支払額63百万円を計上したことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期の業績予想につきましては、平成27年11月13日に公表いたしました業績予想から変更ございません。

## 2. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,856,319	1,617,384
売掛金	357,321	431,456
商品	756,820	836,477
未着商品	28,961	20,820
貯蔵品	8,587	69,061
前渡金	76,670	92,986
前払費用	22,156	34,836
繰延税金資産	45,226	74,322
その他	1,605	4,417
流動資産合計	3,153,668	3,181,764
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	521,765	461,202
工具、器具及び備品（純額）	51,688	52,114
土地	749	749
有形固定資産合計	574,204	514,066
無形固定資産		
特許権	494	429
商標権	2,647	2,412
意匠権	964	822
ソフトウェア	51,157	53,357
ソフトウェア仮勘定	25,000	83,586
無形固定資産合計	80,262	140,608
投資その他の資産		
投資有価証券	48,000	48,000
関係会社株式	35,000	35,000
関係会社長期貸付金	153,000	153,000
差入保証金	195,750	443,734
繰延税金資産	24,653	26,418
その他	9,476	9,495
貸倒引当金	△133,838	△133,838
投資その他の資産合計	332,042	581,810
固定資産合計	986,509	1,236,486
資産合計	4,140,178	4,418,250

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成28年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	404,222	519,056
1年内償還予定の社債	57,500	40,000
1年内返済予定の長期借入金	396,418	246,258
未払金	138,353	303,732
未払費用	34,205	36,706
未払法人税等	41,623	130,006
未払消費税等	67,712	30,492
前受金	280,757	267,646
預り金	6,930	4,833
賞与引当金	50,522	27,379
株主優待引当金	—	49,505
資産除去債務	—	38,579
その他	3,538	2,623
流動負債合計	1,481,782	1,696,818
固定負債		
社債	80,000	60,000
長期借入金	648,692	648,688
資産除去債務	157,251	118,968
固定負債合計	885,943	827,656
負債合計	2,367,725	2,524,475
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	389,652	391,027
資本剰余金	339,652	341,027
利益剰余金	1,043,147	1,161,720
株主資本合計	1,772,452	1,893,775
純資産合計	1,772,452	1,893,775
負債純資産合計	4,140,178	4,418,250

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
売上高	3,611,091	4,282,461
売上原価	2,418,708	2,770,394
売上総利益	1,192,382	1,512,066
販売費及び一般管理費	942,495	1,203,274
営業利益	249,887	308,792
営業外収益		
受取利息	163	149
受取保険金	2,242	368
物品売却益	2,055	—
その他	1,163	1,701
営業外収益合計	5,625	2,219
営業外費用		
支払利息	6,018	4,251
為替差損	17	18
支払手数料	1,000	106
その他	—	153
営業外費用合計	7,036	4,529
経常利益	248,475	306,482
特別利益		
固定資産売却益	38,928	—
特別利益合計	38,928	—
特別損失		
減損損失	—	31,798
固定資産売却損	217	—
固定資産除却損	527	364
特別損失合計	744	32,162
税引前四半期純利益	286,659	274,319
法人税、住民税及び事業税	107,200	122,805
法人税等調整額	△4,623	△30,860
法人税等合計	102,577	91,945
四半期純利益	184,082	182,374

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	286,659	274,319
減価償却費	54,594	52,251
減損損失	—	31,798
賞与引当金の増減額（△は減少）	1,631	△23,143
株主優待引当金の増減額（△は減少）	—	49,505
受取利息及び受取配当金	△163	△149
支払利息	6,018	4,251
固定資産売却損益（△は益）	△38,711	—
固定資産除却損	527	364
売上債権の増減額（△は増加）	5,907	△74,135
たな卸資産の増減額（△は増加）	84,468	△131,990
仕入債務の増減額（△は減少）	65,744	114,833
前受金の増減額（△は減少）	15,598	△13,110
未払金の増減額（△は減少）	3,893	150,379
その他	△59,679	△63,648
小計	426,491	371,525
利息及び配当金の受取額	163	149
利息の支払額	△5,828	△4,273
法人税等の支払額	△174,257	△39,179
営業活動によるキャッシュ・フロー	246,569	328,222
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	10,000	—
有形固定資産の取得による支出	△181,738	△10,958
有形固定資産の売却による収入	330,156	—
無形固定資産の取得による支出	△17,292	△59,752
関係会社株式の取得による支出	△35,000	—
差入保証金の差入による支出	△1,608	△248,119
差入保証金の回収による収入	270	108
その他	—	△230
投資活動によるキャッシュ・フロー	104,787	△318,952
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△187,568	△450,164
社債の償還による支出	△69,500	△37,500
配当金の支払額	△31,711	△63,289
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	2,750
財務活動によるキャッシュ・フロー	△288,779	△248,203
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	62,577	△238,934
現金及び現金同等物の期首残高	1,688,757	1,856,319
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,751,334	1,617,384



## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は建築資材のインターネット通信販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(合併会社の設立)

当社は、平成28年4月5日開催の取締役会において、当社、国産新盛股份有限公司及び中興保全股份有限公司の3社で合併会社を設立することを決議いたしました。

## 1. 合併会社設立の目的

当社は、建築資材のインターネット通信販売事業をおこなっており、当社オリジナル商品で世界のデザイン賞や展示会などに出展し、多くの商品で受賞してまいりました。かねてより海外事業を戦略的に拡大すべきマーケットと位置づけるとともに、まずは成長著しいアジア地域への事業展開を目指しております。一方、国産新盛股份有限公司は国産建材実業股份有限公司の子会社であり、主に台湾国内のデベロッパーに対して建築資材やオリジナルのコンクリート製品を展開しており、今後は一般施主にも受け入れられる住宅用商材の取り扱い及び販路確立を重点戦略としていきます。また、中興保全股份有限公司とはSIGMUグループとして連携しており、同グループは台湾において食物、住宅、輸送、ハイテク製品、IoT製品等の広範な商品を取り扱っております。今般、両社の戦略が合致したことから、台湾市場での当社取り扱い製品の展開を目的に当社、国産新盛股份有限公司及び中興保全股份有限公司の3社で合併会社を設立することといたしました。

## 2. 合併会社の概要

(1) 名 称	睿信三輪股份有限公司 (SANWA COMPANY RS TAIWAN LTD.)
(2) 所 在 地	台北市内湖区新湖一路8号6楼
(3) 代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	董事長 徐蘭英
(4) 事 業 内 容	建築資材の輸入及び販売
(5) 資 本 金	100,000,000新台幣ドル
(6) 設 立 年 月 日	2016年5月(予定)
(7) 大 株 主 及 び 持 株 比 率	当社 40% 国産新盛股份有限公司 40% 中興保全股份有限公司 20%

## 3. 合併相手先の概要

## (1) 国産新盛股份有限公司

① 名 称	国産新盛股份有限公司 (GOLDSUN INNOVATIVE BUILDING MATERIALS CO., LTD.)
② 所 在 地	台北市内湖区新湖一路8号7楼
③ 代表者の役職・氏名	董事長 林明昇
④ 事業内容	建築資材及びコンクリート創意商品販売業
⑤ 資本金	60,000,000新台幣ドル
⑥ 設立年月日	2015年10月12日
⑦ 大株主及び持株比率	国産建材實業股份有限公司 100%
⑧ 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係、人的関係、取引関係及び関連当事者への該当事項はありません。

## (2) 中興保全股份有限公司

① 名 称	中興保全股份有限公司 (TAIWAN SECOM CO., LTD.)
② 所 在 地	台北市鄭州路139号6楼及7楼
③ 代表者の役職・氏名	董事長 林孝信
④ 事業内容	警備保障業
⑤ 資本金	4,511,970,930新台幣ドル
⑥ 設立年月日	1977年11月8日
⑦ 大株主及び持株比率	セコム株式会社 27.29%
⑧ 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係、人的関係、取引関係及び関連当事者への該当事項はありません。